

# Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ

人の暮らしとすまいのために……

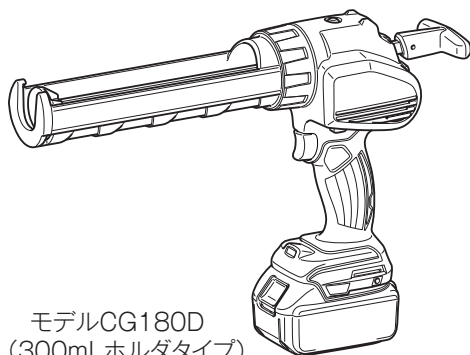
## 取扱説明書

## 充電式 コーキングガン

無段変速・ライト付

モデル CG140D

モデル CG180D



モデルCG180D  
(300mLホルダタイプ)

このたびは充電式コーキングガンをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいで、いつまでも安全に能率よくお使いいくださるようお願い致します。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



# 目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	5
・ 充電式コーキングガン安全上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	11
・ 別販売品のご紹介	12
・ 使い方	13
・ バッテリーの取り付け・取りはずし方	13
・ バッテリー保護機能	13
・ バッテリーについて	14
・ バッテリーの充電方法	14
・ 充電完了メロディーの切り替え方法	15
・ 充電表示ライトについて	16
・ 冷却システムについて	17
・ オートメンテナンス機能について	18
・ バッテリーを長持ちさせるには	18
・ バッテリーの回収について	18
・ 充電器の点検・修理・保管について	18
・ ご使用の前に	19
・ ピストン A、B、C の組み付け	19
・ 使い方	20
・ スイッチの操作	20
・ 最大押し出し速度の調整	21
・ 負荷状態の警告	21
・ ライトの点灯	22
・ シーリング剤の準備と取り付け	23
・ カートリッジタイプをご使用の場合	24
・ 使用途中のカートリッジを再使用する場合	25
・ ソーセージ型シーリング剤をご使用の場合	26
・ 吸い込み式シーリング剤をご使用の場合	27
・ 操作方法	28
・ 作業終了後	28
・ ホルダ A (300mL 用) からホルダ B (600mL 用) への交換手順	29
・ ホルダ A (300mL ホルダ) の取りはずし	29
・ ピストン A コンプリートの取りはずし	29
・ ラック 42 (押し出し棒) の取りはずし	30
・ ホルダジョイント A の取りはずし	30
・ ホルダジョイント B の組み付け	30
・ ラック 64 (押し出し棒) の組み付け	31
・ ホルダ B、ホルダジョイント B、ノズル、ラバーシールの組み付け	31
・ 1 回の充電の作業量	32
・ 保守・点検について	33
・ 本機のお手入れ	33
・ ご修理の際は	33

# 主要機能

主要機能		モデル	CG140D	CG180D
電動機		直流マグネットモータ		
バッテリー		リチウムイオンバッテリー		
		バッテリー BL1430 (容量 3.0Ah)	バッテリー BL1830 (容量 3.0Ah)	
電圧		直流 14.4V	直流 18V	
最大押出力		5,000N		
押出速度		0 ~ 28mm/ 秒		
ストローク	ホルダA(300mL)仕様	214mm		
	ホルダB(600mL)仕様 (別販売品)	350mm		
本機寸法	ホルダA(300mL)仕様	長さ 404mm × 幅 108mm × 高さ 281mm		
	ホルダB(600mL)仕様 (別販売品)	長さ 538mm × 幅 108mm × 高さ 281mm		
質量 (バッテリー含む)	ホルダA(300mL)仕様	2.2kg	2.3kg	
	ホルダB(600mL)仕様 (別販売品)	2.6kg	2.7kg	

急速充電器	DC18RC
入力電圧	単相交流 100V
入力周波数	50-60Hz
入力容量	410VA
出力電圧	直流 7.2-18V
出力電流	直流 9A

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **⚠ 警告** ・ **⚠ 注意** ・ **注** の意味について

---

ご使用上の注意事項は **⚠ 警告** と **⚠ 注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

**⚠ 警告**

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠ 注意**

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお **⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**注**

: 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

# 安全上のご注意

JPA002-37

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

## ⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. マキタ専用の指定のバッテリー以外を使わないでください。
  - ・ 改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。工具本体の性能や安全性等も損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。
2. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
  - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
  - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
  - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。
  - ・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。
5. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
  - ・ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。
6. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
  - ・ バッテリーの液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
7. 正しく充電してください。
  - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
  - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
  - ・ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
  - ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
8. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
  - ・ 感電の恐れがあります。

## ⚠ 警告

### 9. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ・ 充電工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
- ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。

### 10. 保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

### 11. 防音用保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

### 12. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

### 13. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。

- ・ 使用しない、または修理する場合。
- ・ 刃物（刈刃）、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。

### 14. 不意な始動は避けてください。

- ・ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・ バッテリーをさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

### 15. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書、および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

### 16. バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

### 17. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

### 18. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。

### 19. ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。

- ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

### 20. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

- ・ 爆発や火災の恐れがあります。

### 21. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。

- ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では充電しないでください。
- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物を差し込まないでください。
- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

 **警告**

22. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。

- ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

23. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

## ⚠ 注意

- 1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。**
  - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
- 2. 子供を近付けないでください。**
  - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
  - ・ 作業者以外、作業場へ近付けないでください。
- 3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
  - ・ バッテリーを、周囲温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の中車内等）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- 4. 無理して使用しないでください。**
  - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
  - ・ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
- 5. 作業に合った充電工具を使用してください。**
  - ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
  - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 6. きちんとした服装で作業してください。**
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 7. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物（刈刃）類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
  - ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。
  - ・ コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
  - ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - ・ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。



## ⚠ 注意

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
    - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
  10. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
    - ・ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
  11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
    - ・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
  12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
    - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
    - ・ 疲れている場合は、使用しないでください。
  13. 損傷した部品がないか点検してください。
    - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    - ・ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
    - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
    - ・ スイッチで始動、および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。
  14. 充電工具の修理は、専門店にお申し付けください。
    - ・ 本体、充電器、バッテリーを分解、修理、改造は行なわないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
    - ・ 本体が熱くなったり、異常に気が付いた時は点検・修理に出してください。
    - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
    - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
    - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
  15. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- この取扱説明書は、大切に保管してください。

### ●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

# 充電式コーキングガン安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式コーキングガンとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB215-1

## ⚠ 警告

1. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
  - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
2. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

1. モータがロックするような無理な使い方はしないでください。固まったシーリング剤等を使用しないでください。
  - ・ 発煙・発火の恐れがあります。
2. 指定された用途以外に使用しないでください。
  - ・ けがの恐れがあります。
3. ラック（押し出し棒）に触れないでください。
  - ・ けがの恐れがあります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
  - ・ 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 本機やバッテリーに油など異物がついた状態で使用しないでください。
  - ・ 本機やバッテリーが落下して事故になる恐れがあります。また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂の恐れがあります。

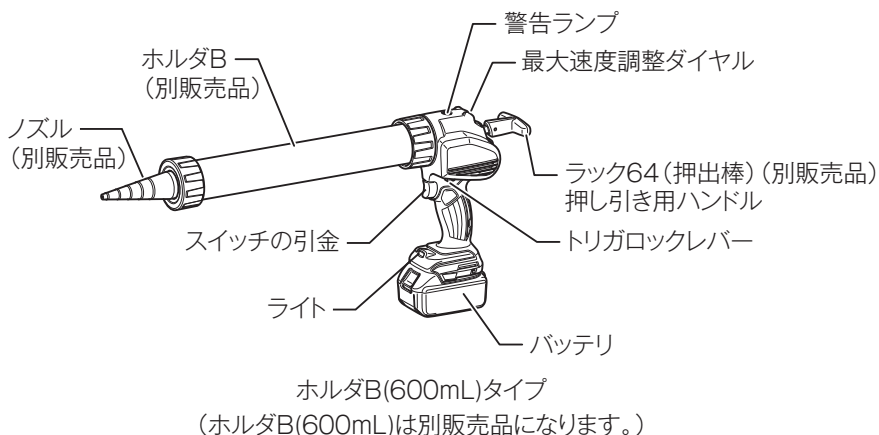
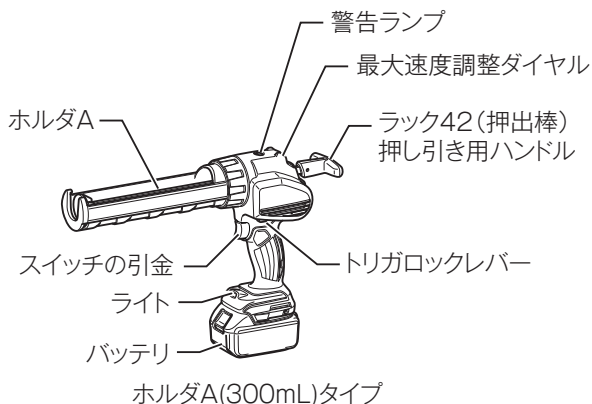
## 注

- ・ 電源が離れていて延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
2.0mm <sup>2</sup>	30m

# 各部の名称および標準付属品



## 製品の組み合わせおよび標準付属品

標準付属品	モデル	CG140DZ	CG180DZ	CG140DRF	CG180DRF
バッテリー		×	×	○ BL1430	○ BL1830
充電器 (充電時間)		×	×	DC18RC (約 22 分)	DC18RC (約 22 分)
セフティゴーグル		○	○	○	○
バッテリーカバー		×	×	○	○
プラスチックケース		×	×	○	○

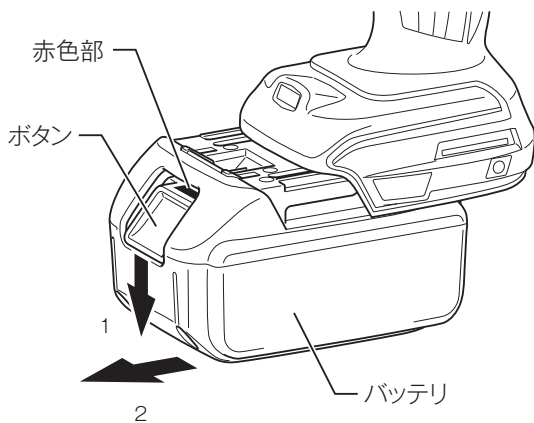
## 別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。
- ・ ホルダA(300mL用) セット品  
部品番号 196329-1
- ・ ホルダB(600mL用) セット品  
部品番号 196330-6
- ・ ピストンAコンプリート  
部品番号 142071-2
- ・ ピストンBコンプリート  
部品番号 142072-0
- ・ ピストンCアッセンブリ  
部品番号 123221-8
- ・ ノズル  
部品番号 454226-0
- ・ バッテリー BL1430(モデルCG140D用)  
部品番号 A-42634
- ・ バッテリー BL1830(モデルCG180D用)  
部品番号 A-47896

# 使い方

## バッテリーの取り付け・取りはずし方

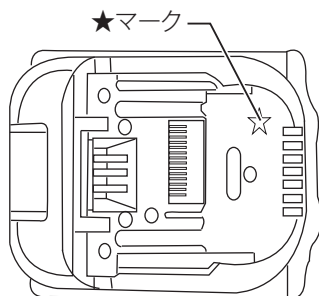
- ・ バッテリーを本機から取りはずすときは、1. バッテリー正面のボタンを下げながら2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領でバッテリーを本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



## バッテリー保護機能

(★マーク付きバッテリーを使用する場合)  
バッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能がついています。本機を使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これはバッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。

- ・ 本機が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。  
このときはいったんスイッチをはなし本機よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- ・ バッテリーの温度が高温になるとモーターが自動停止します。スイッチを操作してもモーターは停止したままです。  
このときはバッテリーの使用を中断し、本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを冷ますかまたは、充電してください。
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。スイッチを操作してもモーターは停止したままです。  
このときは本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。



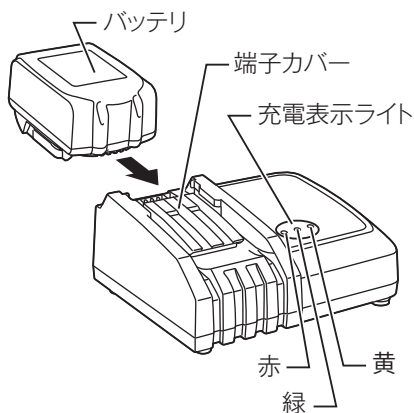
# 使い方

## バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本機は動くおそれがありますので注意してください。） ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

## バッテリーの充電方法

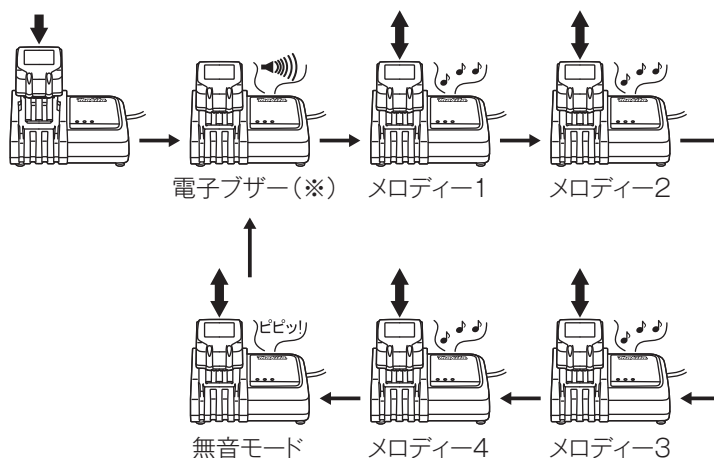
1. 充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーはバッテリー挿入に伴い開閉します。
3. バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーが短時間流れ、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。そのままバッテリーを挿入しておけば、バッテリーを冷却します。充電時間は周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。
4. 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますのでそのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却期間は約 1 時間です。
5. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



# 使い方

## 充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリーを充電器に差し込むと、現在設定（※）されている充電完了メロディーの確認音が短時間流れます。
  2. このとき、約5秒以内にバッテリーを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
  3. 続けて約5秒以内にバッテリーを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
  4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が流れましたら、バッテリーを挿入したままにすることで充電を開始します。「ピピッ!」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音がしません（無音モード）。
  5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリー挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
- 設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。






※出荷時は電子ブザーに設定されています。




# 使い方

## 充電表示ライトについて







充電表示ライトの内容は以下のようになっています。  
(通常充電時のライト表示および表示内容)

ライト表示	点滅 点灯	表示内容
  		充電前「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
  		冷却中「赤 1 個」点滅 バッテリーが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
  		充電中「赤 1 個」点灯 バッテリー容量約0~80%を示します。
  		充電中「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリー容量約80~100%を示します。
  		充電完了「緑 1 個」点灯 電子ブザー またはメロディー

(オートメンテナンス時のライト表示および表示内容)

  		オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリー寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
---	--	--

(異常時のライト表示および表示内容)

  		充電不可「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリー寿命またはゴミつまりで充電できません。
  		冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。



## 注

- ・ DC18RC はマキタバッテリー専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- ・ 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- ・ 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリーの寿命またはごみ詰まりで充電できません。
- ・ バッテリーを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
- ・ オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態に応じて変動します。
- ・ 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
  - × 充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
  - × バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
  - × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、1 時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない）。

## 冷却システムについて

- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのごみ詰まりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなる場合があります。このようなときは、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

# 使い方

## オートメンテナンス機能について

- ・ オートメンテナンス機能は、バッテリーの使用状態に応じて自動的にバッテリーを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- ・ 下記1～4の状態となった場合、特にバッテリー寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
  - 1 高温充電の繰り返し
  - 2 低温充電の繰り返し
  - 3 満充電バッテリーの再充電の繰り返し
  - 4 過放電の繰り返し(過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です)

## バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間(6ヶ月以上)ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは、充電してから保管することをおすすめします。

## バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは  
リサイクルへ

## 充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
  - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  - × 温度や湿度の急変する所
  - × 湿気の多い所
  - × 直射日光の当たる所
  - × 揮発性物質の置いてある所

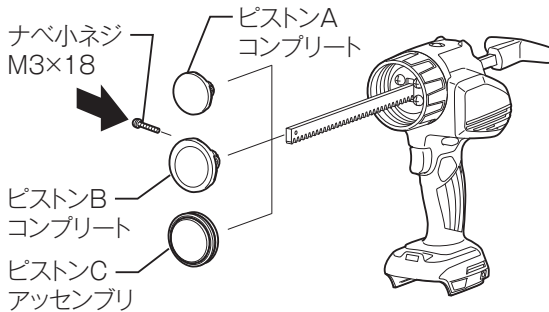
## ご使用の前に







### ピストン A、B、C の組み付け

- ・用途に応じてピストンA、BまたはCを組み付け、ナベ小ネジM3×18で固定してください。
- ・各ピストンの用途と組み合わせは図のようになります。
- ・ホルダA (300mL用) またはホルダB (600mL用) をしっかりと組み付けてください。

### 注

- ・シーリング剤に合ったピストンを必ずご使用ください。組み合わせが違いますと故障の原因になります。



ホルダ	ホルダA (300mL)		ホルダB (600mL)	
	ピストン種類	ピストンA コンプリート 	ピストンB コンプリート 	ピストンC アッセンブリ 
シーリング剤種類	カートリッジ型 シーリング剤 	ソーセージ型 シーリング剤 	吸い込み式 シーリング剤 	

※ホルダAの組み合わせは、ホルダBでもご使用になれます。

# 使い方

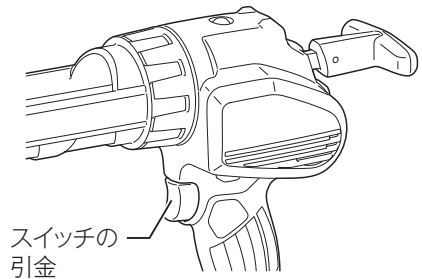
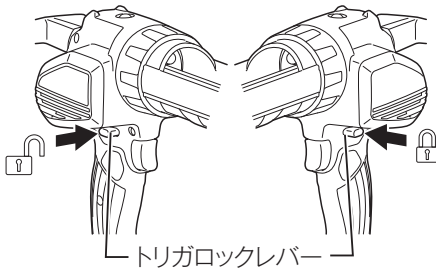
## スイッチの操作

### ⚠ 警告

本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

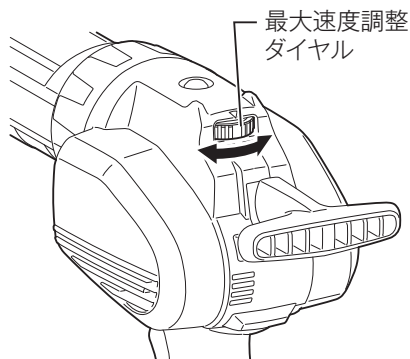
- ・ トリガロックレバーの解除<sup>①</sup>側を押した状態にします。
- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すとモーターが一瞬逆転し、切れます。
- ・ スイッチの引金の引き加減により、お望みの回転数が得られます。
- ・ 作業後は必ずトリガロックレバーのロック<sup>②</sup>側を押した状態にしてください。スイッチの引金が引けない状態になります。



# 使い方

## 最大押し出し速度の調整

- 最大速度調整ダイヤルを回すことにより、押し出し速度を無段階に調整できます。ダイヤル表示は1～5まであり、数字が大きくなるに従って押し出し速度が速くなります。

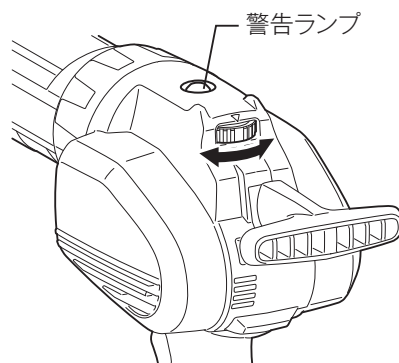


## 注

- 最大速度調整ダイヤルを1から徐々に上げて調整してください。ノズル部の大きさによりシーリング剤が速く出る場合があります。
- 最大速度調整ダイヤルは必ず1～5の範囲で調整してください。
  - 故障の原因になります。
- 低速時、シーリング剤の種類や状態により押し出すことができない場合があります。ダイヤルを徐々に上げて調整してください。

## 負荷状態の警告

- 高負荷状態で作業を行うと、警告ランプが点滅します。さらに負荷が上がり過負荷になると、モータが停止し、警告ランプが点灯します。このような状態になった場合は、一旦スイッチの引金を離し、過負荷の原因を取り除いた後、作業をしてください。



## 注

- 警告ランプが点灯したときは高負荷、過負荷の原因を確認してください。
- 高負荷、過負荷の原因として、シーリング剤のつまり、最大速度調整ダイヤルの設定が高い、シーリング剤の先端ノズルの切断径が小さい等が考えられます。

# 使い方

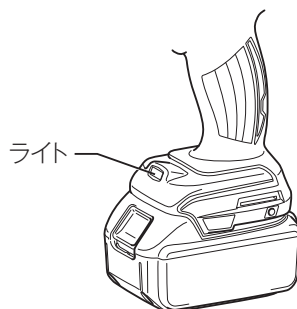
## ライトの点灯

### ⚠ 注意

ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てたりしないでください。

・ ライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になります。

- ・ スイッチの引金を引くと点灯し、離すと約10秒で消灯します。



# 使い方

## シーリング剤の準備と取り付け

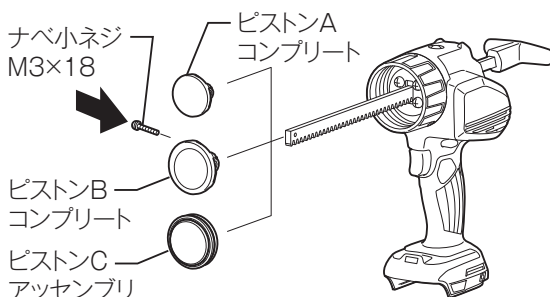
### ⚠ 警告






シーリング剤およびホルダの取り付け・取りはずしの際は必ずバッテリーを抜いてください。

- ・ 本機が作動して、けがの恐れがあります。

### 注

- ・ シーリング剤に合ったホルダとピストンをご使用ください。



ホルダ	ホルダA (300mL)	ホルダB (600mL)	
	ピストン種類	ピストンA コンプリート 	ピストンB コンプリート 
シーリング剤種類	カートリッジ型 シーリング剤 	ソーセージ型 シーリング剤 	吸い込み式 シーリング剤 

※ホルダAの組み合わせは、ホルダBでもご使用になれます。

# 使い方

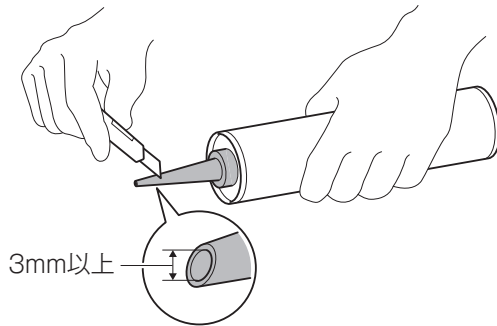
## カートリッジタイプをご使用の場合

### 注

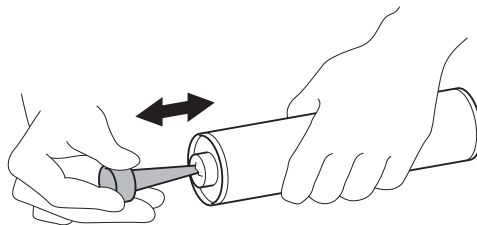
- ・ カートリッジタイプご使用の場合は、ピストン A コンプリートをご使用ください。
- ・ カートリッジに記載の使用方法を確認し、ご使用ください。

### ご使用例

- ・ カートリッジのノズル先端を斜めにカットしてください。
- ・ ノズルの切断穴径は3mm以上になるようにカットしてください。



- ・ カートリッジ内部の保護膜をノズル先端でつき破ってください。



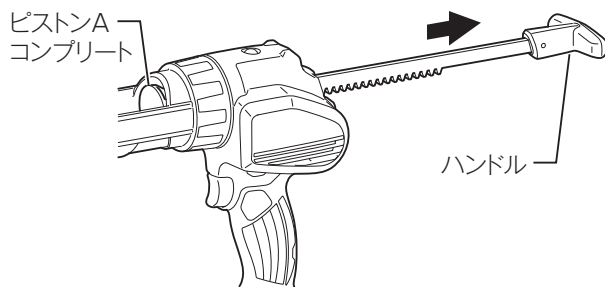
### 注

- ・ カートリッジの使用方法を誤るとカートリッジの破損やシーリング剤が後部からはみ出す場合があります。

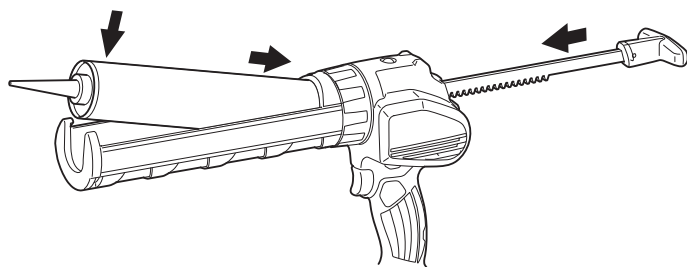


## 使い方

- ・ ハンドルを止まるまで、後ろに引いてください。

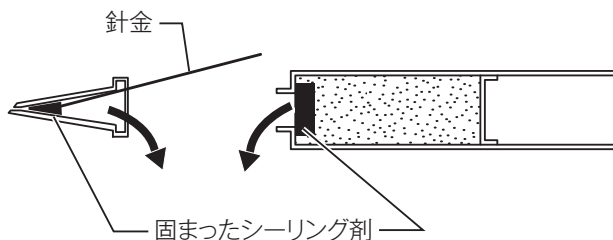


- ・ カートリッジをホルダAに収め、カートリッジ先端がホルダAに軽く当たるまで、ハンドルを押してください。



### 使用途中のカートリッジを再使用する場合

- ・ 必ず針金等で固まってしまったシーリング剤を取り除いてからホルダAに収めてください。



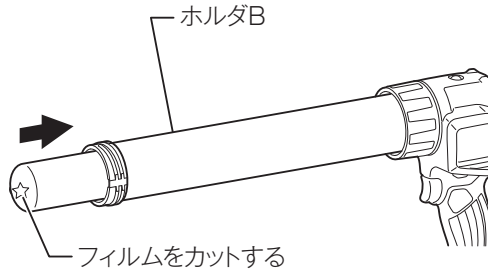
# 使い方

## ソーセージ型シーリング剤をご使用の場合

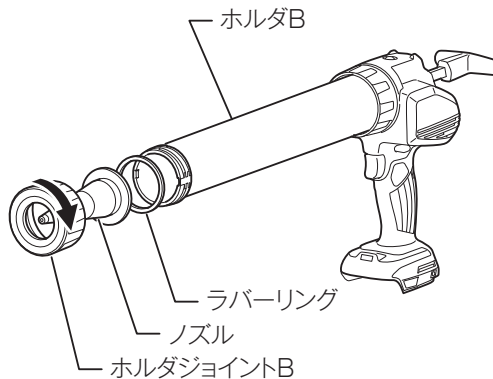
- ・ シーリング剤に合ったホルダとピストンをご使用ください。

ホルダB、ピストンB、ラック 64 は別販売品になりますので、作業前にお買い求めください。

- ・ ソーセージ型シーリング剤のフィルムの先端をカットしてください。
- ・ ホルダBの中へソーセージ型シーリング剤を押し込んでください。



- ・ ラバーリング、ノズル、ホルダジョイントBを図のように組み付けてください。



- ・ ノズル先端穴の大きさは作業箇所に合わせてカットしてください。

## 使い方

### 吸い込み式シーリング剤をご使用の場合

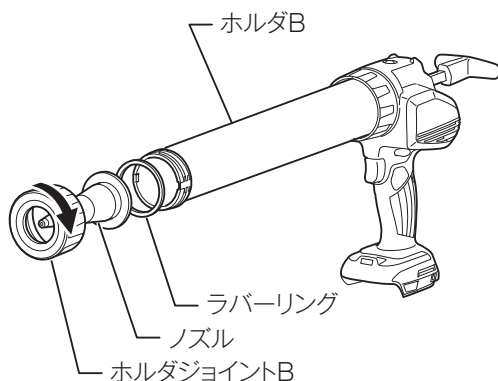
- ・ シーリング剤に合ったホルダとピストンをご使用ください。

ホルダ B、ピストン C、ラック 64 は別販売品になりますので、作業前にお買い求めください。

- ・ ホルダ B 先端を吸い込み式シーリング剤の容器に入れ、ハンドルを引いて、ホルダ B の中へシーリング剤を吸い込みます。



- ・ ラバーリング、ノズル、ホルダジョイント B を図のように組み付けてください。



- ・ ノズル先端穴の大きさは作業箇所に合わせてカットしてください。

# 使い方

## 操作方法

### ⚠ 警告

バッテリーは確実に本機に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。
- ・ 本機のスイッチの引金を引くと、ラックが動き、シーリング剤が出てきます。
- ・ 作業の際は、ホルダの下部に軽く手をそえて作業を行ってください。
- ・ ラックが音を出し進まなくなると、押し出し終了です。

## 作業終了後

### ⚠ 警告

作業終了後は必ず本機を停止し、バッテリーを抜いてください。

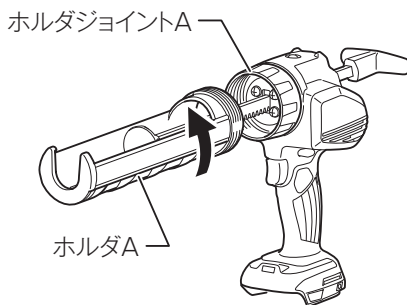
- ・ バッテリーを本機に差し込んだまま行くと、事故の原因になります
- ・ ホルダ・ラック等についたシーリング剤を拭き取ってください。
- ・ 抜き取りはシーリング剤が固まる前に行ってください。

## 使い方

ホルダA(300mL用)からホルダB(600mL用)への交換手順

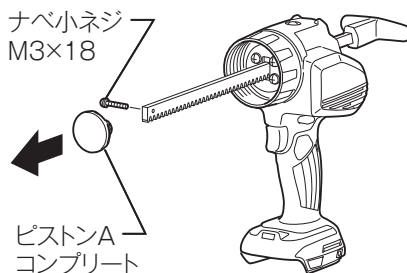
### ホルダ A (300mL ホルダ) の取りはずし

- ・ホルダジョイントAを保持し、ホルダAを回して取りはずしてください。



### ピストン A コンプリートの取りはずし

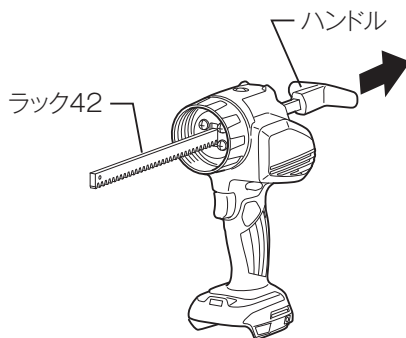
- ・ナベ小ネジM3×18をはずし、ピストンAコンプリートを取りはずしてください。



# 使い方

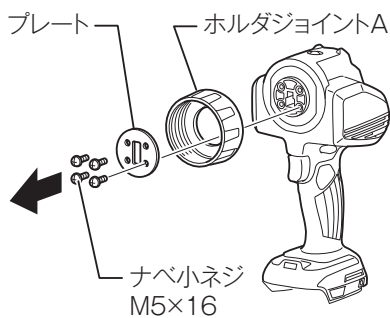
## ラック 42 (押し出し棒) の取りはずし

- ・ ハンドルを引き、ラック42を後方に引き抜いてください。



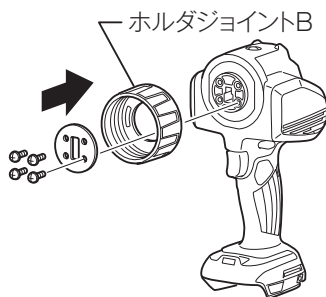
## ホルダジョイント A の取りはずし

- ・ ナベ小ネジM5×16 (4本) をはずし、プレートとホルダジョイントAを取りはずしてください。



## ホルダジョイント B の組み付け

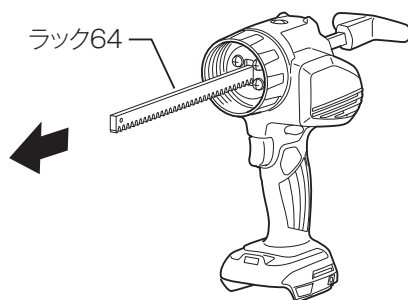
- ・ ホルダジョイントBとプレートを図のように組み付け、ナベ小ネジM5×16 (4本) で確実に固定してください。



## 使い方

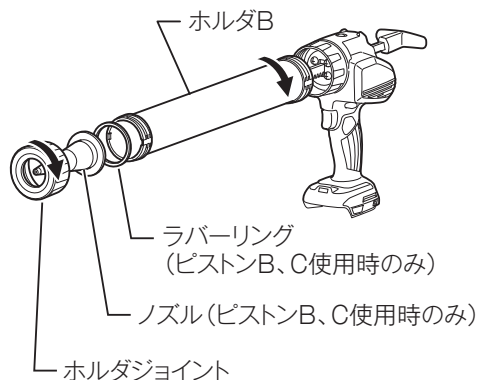
### ラック64（押し出し棒）の組み付け

- ラック64を後方から組み付けてください。



### ホルダB、ホルダジョイントB、ノズル、ラバーシールの組み付け

- 使用するシーリング剤に合ったピストンを組み付けた後、ホルダB、ホルダジョイントBを図のように組み付けます。ソーセージ型用ピストンB、吸い込み式ピストンC使用時はラバーリングとノズルをホルダBとホルダジョイントB間に挟み込んでください。



# 使い方

## 1 回の充電の作業量

- ・ 数値は参考値です。
- ・ バッテリーの状態、シーリング剤の種類、ノズル切断穴径、温度、押出速度などにより異なります。
- ・ 300mLカートリッジ、周囲温度20℃、最大速度調整ダイヤル5において、スイッチの引金を最大に引き込んだ状態での値です。
- ・ 冬季は温度が低くなりますので、作業本数は下表より少なくなります。

材質	ノズル切断穴径	モデル	
		CG140D (バッテリー BL1430)	CG180D (バッテリー BL1830)
シリコン系	φ 5.0mm	約 410 本	約 500 本
ウレタン系	φ 10.0mm	約 580 本	約 760 本



### 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本機に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

### 本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

### 注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

### ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。





882678-9  
NNP

**株式会社マキタ**

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502  
TEL.0566-98-1711 (代表)